



沖縄県那覇市

コミュニティ主体による まちづくり—“ゆいまーる”に学ぶ—

趣旨

現在の日本は、長い景気の低迷により、多くの人びとが生活に不安を感じています。また、人間関係が希薄となり地域コミュニティの衰退が叫ばれています。地域で生きる人びとにとって、安心した暮らしを育むことはもっとも大切なことであり、その原点となるのが人であり、地域のコミュニティです。

沖縄には、かつての日本各地で行われていた相互扶助、いわゆる“ゆいまーる”が残っています。地域住民が日常の作業や経済的な負担を互いに軽減するため、みんなの力を持ち寄って支え合うという考え方です。そうした“ゆいまーる”の精神のもと、那覇市で展開されている協働によるまちづくりの活動について、検討するワークショップを開催します。



概要

那覇市(人口318,266人:平成23年3月末現在)は、沖縄県の県都であり、県内において政治・経済・文化の中心地として知られています。古くは、琉球国の王都・商都として、中国をはじめアジア諸国と交易の歴史があり、海外との交流拠点として琉球王朝文化が華ひらいた街です。

一方、「鉄の暴風」と称される先の沖縄戦で街は焦土と化しましたが、多くの県民市民が互いに手をとりあい、現在の那覇市へと発展してきました。近年では NAHA マラソンをはじめ、那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭り首里などイベントを多数開催し、観光のまちとしても知られています。

市政としては「いい暮らしより 楽しい暮らしを」を合言葉に、市民との協働によるまちづくりを核として、どの世代にとっても住みやすく、こどもの笑顔が輝き、緑あふれる美しい那覇市の実現をめざしています。

会場

那覇市ぶんかテンプス館3階 会議室

沖縄県那覇市牧志3丁目2番10号

【アクセス】沖縄都市モノレール(ゆいレール) 牧志駅下車 徒歩5分

日程

10.26 | 水

13:30 開講式・オリエンテーション

Lecture 1

13:45 総論・問題提起

主任講師:宮城 能彦氏

Lecture 2

14:55 「那覇市におけるコミュニティ活動の支援について」

特別講師:那覇市まちづくり協働推進課 課長 上原 晃氏

Lecture 3

16:00 「沖縄に残る“ゆいまーる”の大切さ」

特別講師:民俗研究家 結城 登美雄氏

10.27 | 木

Lecture 4

9:00 「フィールドワークの説明」

主任講師:宮城 能彦氏

Field Work

9:30 活動現場の視察

・繁多川公民館 NPO 法人なはまちづくりネット
・若狭公民館 NPO 法人地域サポートわかさ

Group Work 1

16:00 視察結果のとりまとめ

主任講師:宮城 能彦氏

10.28 | 金

Group Work 2

9:00 グループ発表・講評

主任講師:宮城 能彦氏

Lecture 5

11:05 総括

主任講師:宮城 能彦氏

12:00 閉講式

主任講師

1960年那覇市生まれ浦添市育ち。琉球大学法文学部社会学科卒業。兵庫教育大学院卒業。

1989年沖縄女子短期大学専任講師を経て、1999年より現在、沖縄大学人文学部に勤務。2004年~2008年同大学地域研究所副所長。現在、同大学教授、専攻は社会学、沖縄村落社会論、共同体論。主な著作に、『共同売店一ふるさとの守る沖縄の知恵』沖縄大学地域研究所、『共同店ものがたり』(共著・監修)株式会社伽楽可楽、『名護市における戦後字公民館の設置と活動』『名護市における字の組織と運営』『名護市史 教育』などがある。

沖縄大学
人文学部こども文化学科教授
宮城 能彦氏

特別講師

東北各地や沖縄のフィールドワークから「地元学」を提唱。「ゆいまーる」に関する講演も多数。著書「地元学からの出発—この土地を生きた人びとの声に耳を傾ける」(2009年、農山漁村文化協会)、『東北を歩く—小さな村の希望を旅する』(2011年、新書館)

民俗研究家
結城 登美雄氏

申込先・問合せ先

財団法人 地域活性化センター 振興部 地域支援課
〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番地4号 日本橋プラザビル 13階
TEL (03) 5202-6136 FAX (03) 5202-0755
E-mail chiiki@jcrd.jp
URL www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp